

4月13日 伝統受け継ぐ 迫力の子供獅子舞

約650年の伝統があるといわれる岐部子供獅子舞が、国見町の岐部神社で行われました。神事のあと、岐部地区の女子小学生による巫女が鈴を鳴らして舞を披露。男子小学生が扮する鬼2人、獅子役の4人が登場し、本殿の中を左右に動き回りながら格闘の様子を勇ましく演じました。

子どもたちの舞を見つめていた宮総代長の岐部吉久さんは「雨だったが無事に終わってよかった。子どもも指導者に感謝したい」と話していました。

4月20日 行入ダムこいのぼり設置

表紙写真



3月30日 みんなんかんで ハッピーな披露宴

国見生涯学習センターみんなんかんのホールで結婚披露宴が行われました。豊後高田市香々地の菜の花畑で結婚式を挙げた谷知英さん（国見町）、河野友希さん（安岐町）が、お世話になった地元で披露宴をしたいと同施設を選定。多くの招待者に祝福され、楽しいひとときを過ごしました。

みんなんかんの職員によると、「披露宴やパーティーなどでホールを利用することもできます」と話しています。



4月3日 教職員全員集会で 教育方針を確認

市内小・中学校の教職員や支援センター職員など約240名が参加し、国東市教職員全員集会がアストくにさきで行われました。学校教育課長・指導主事が本年度の国東市の基本方針や、学力・体力向上の目標、具体的な取り組みを説明しました。

全員集会の開催は今年で2年目。年度当初に教職員全員が課題や目標を共有し、一丸となって教育に取り組んでいくことが確認ができました。



防災情報

指定二次避難所へ 「避難場所看板」・ 「避難者情報サイン」を設置

国東市は、市内42か所の指定二次避難所へ避難所看板と避難者情報サインを設置しました。二次避難所とは、地震や津波などの大規模災害が発生した時に、緊急に避難した津波避難所や自主避難場所から、市からの指示で避難する広域避難場所のことです。

今後30年以内に発生する確率が約70%と言われている「南海トラフ大地震」など大規模災害に備えたもので、「避難所看板」はここが避難場所だと誰にでもわかるように、また「避難者情報サイン」は避難所に救助を求める避難者がいないか、その中に重傷者がいないかを、防災ヘリ等が上空から確認できるよう設置するものです。



▲避難場所看板



▲第二次避難所内に設置された避難者情報サインと広げた様子
赤～避難者の中に緊急の救助を要する方がいる場合
黄～避難者がいる場合

【問合先】総務課防災係 ☎0978-72-5160

4月6日 桜満開 安岐ダムで 春のひととき

恒例の安岐ダム桜まつりが、約3000本の桜が咲き誇る安岐ダムいこいの広場で開催されました。特設ステージでは舞踊やカラオケが披露され、地元のみなさん手作りのシシ鍋や天ぷらも大好評。市内外から訪れた多くの花見客は楽しい春のひとときを過ごしていました。



4月20日 くにさき キリシタンウォーク

J R九州大分支社主催の「おおいたキリシタン南蛮ウォーキング」の国東コースが開催されました。キリシタン・南蛮文化交流協定協議会（国東市など6市町・J R九州大分支社）の各地区で実施されているもので、この日の朝、J R宇佐駅発のバスで約100人がペトロカスイ岐部公園に集合。NPO法人国東半島くにみ粋群のおもてなしで、岩倉社や櫛来山城墓地、修道土像岩、INRI祭壇石などキリシタンゆかりの遺跡をのんびりと巡りました。

